

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314



## 呉福分教会

昭和30年10月28日 設立  
平成8年2月26日 系統位置変更  
(久福 → 久松)

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。  
つなげよう、信仰の喜びを。

活動  
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。

実践  
項目

毎日、喜び・感謝を声に出そう



立教188年  
9月号



## 学生生徒修養会

### 高校の部開催

笠岡から10人参加  
学 担

8月9日から13日にかけて、親里で「学生生徒修養会高校の部」が開催された。受講生は、様々なプログラムを通して、お道の教えを学び実践し、仲間との絆を深めた。尚、笠岡からは、受講生7人、スタッフ3人が参加した。(笠岡学担委員長 上原 繁 次)

#### ・受講生(学年順)

今川昌秀(金浦)・高田航誠(眞府)・森本ひかり(海松ヶ岡)・田中隆太(福山)・笹尾涼太(東城)・小林洸平(福勇)・渡邊夏実(吸江)・スタッフ  
藤井成人(福富士)・武内ゆり(高屋)・村川陽子(大江橋)

## 受講生の感想文

★高 田 航 誠(高2・眞府分教会)

僕は今回初めて学修に参加させていたたきましたが、5日間という長い期間の中、今まで関わった人たちと過ご

せるのか不安でした。ただ班の皆は、僕を温かく迎え入れてくださって、話していくうちに、いつの間にかその不安も消え去っていききました。特にグループワークでは、班の皆の事を知ったり、笑い合ったり、時に自分を見つめ直す事ができました。班の皆と楽し



親里でかけがえのない時間を過ごした

く過ごした時間は、今でも心に刻まれています。

僕はこの5日間でお道の教えはもらい、多くのことを学ぶことができた。今後の生活にて、自分を見つめ直したからこそ、それを忘れずに日々精進していきたいと思います。また、

呼吸ができること、食事が喉を通ること、手足が自由に動かせることなどの親神様のご守護、御働きに日々感謝していきたいと思います。

★小 林 洸 平(高3・福勇分教会)

今回初めて学修に参加してみても有意義な5日間になりました。最初は仲良くなれるかという不安とどんなことをするのか楽しみな気持ちでした。班のメンバーとたくさんさんの行事をするたびに不安は消え、お道について

## 「さんさいの里」で サマーキャンプ 開催 少年会

少年会笠岡団(森本忠善団長)は少年会員17人、育成会員21人、計38人の参加のもと、少年会本部施設「さんさいの里」を会場に8月21日から23日の2泊3日でサマーキャンプを開催しました。今回は大教会長様にもご参加頂きました。

このキャンプは火・水・風の親神様の御守護を肌感じるとともに、たすけあいを実践し、そこに喜びを感謝を体

たくさんの事を学びました。天理教の仲間と陽気暮らしについて考え助け合って生活した5日間は、ものすごく濃くあつという間に終わってしまいました。

学修で1番心に残った事は助け合いの素晴らしさです。「人の体というのは、人のために使うと100%の力が発揮できる」この言葉を聞いて、これからの生活で困っている人や助けを求めている人を見かけたら、助けられるように意識して生活したいです。



さんさいの里、ありがとう！





BBQ、最高！

得する、少年会員の育成を目的に実施される行事です。

大教会の出発式では、3日間の無事を親神様、教祖にお願いさせて頂き、おちばへ向け出発。途中渋滞もあり、到着時間が予定より遅くなりましたが、それでも移動中、バスの車内では終始子どもたちはにぎやかでした。初日は詰所でお世話になり、夕食を済ませて翌日に備えて早めに就寝。

2日目は7時半に詰所を出発し本部参拝。9時ごろにさんさいの里に到着



モルック、大盛り上がり！

し、入所式。その後は各班に分かれて昼食のカレー作りをしました。火をおこすところから始め、野菜を切ったりお米を研いだりと、子どもたちにとっては貴重な体験ができたとともに、普段の生活の有難さを感じました。そして、みんなで協力してできたカレーの味は格別でした。

昼食後は、さんさいの里スタッフの指導のもと、野外ゲームでフォトテリングとモルックをしました。モルックは引率の先生たちも加わり、白熱したバトルを繰り広げ、子どもたちが見事勝利し、大変盛り上がりました。そして夕食はみんな大好きBBQ。

みんなで食べるご飯は最高でした。続いて夕べの集い、日も暮れていよいよ恒例のキャンプファイヤー。スタッフの方々のゲームに歌声、他団体のスタンツを観て楽しませて頂き、笠岡団は青年会の皆さんにいろいろなゲームを見せてもらい、子どもたちも現地のスタッフも大変喜んでくれました。

各テントに帰り、おやつフルーツポンチ。その後寝袋に入り就寝。3日目は、朝の集いの後、朝食作り。前日の経験を生かして手際よくご飯と味噌汁を作りました。そして撤収。

あつという間にキャンプも終わりを迎え、退所式。お世話になったさんさ



一生懸命カレー作り♪



いの里、スタッフの皆さんにお礼を言い、一路大教会へ。

16時ごろ大教会に到着し、閉会式、そして解散。今年も天気に恵まれ、道中大きな事故、怪我なく無事に終わら





模擬試験の解き方を丁寧に解説

## 夏学

## (夏の学習指導)開催

学 担

笠岡学生担当委員会(上原繁次委員長)は、8月24日、大教会で「夏の学習指導」を開催した。今回も現役大学生が講師となり、高校生に英語と数学の学習指導をした。指導後は、参加者全員で食事を実施した。

(学担委員長 上原 繁 次)

せて頂いたことを改めて感謝させていただきます。ありがとうございました。

(委員 三代 拓 己)

## 末の弟のまなざし

10し

## ▼陽気遊びの玄人

今年の暑さはちよつと異常だと思ふ。世界の事情も何となく異常だと思ふ。お道にもう少し力があれば、世界に向けてをやの思いを、今こそ声高に発すべきなのだろうと思う。

この兄は遊び人(?)だったが、反面、教内の動き、世界の動きには、いつも暗澹たる思いを持っていたように感じる。私は大学卒業のあと、西山輝夫氏の勧めもあつて、道友社に勤務した。

当時青年会は東京、大阪、御本部と三つ巴で喧々諤々、まことに勇ましいまた微笑ましい動きを見せていたが、その中、東西でそれぞれ平和を願う集会が開催された。大阪での委員長は東神田の会長さんで、私は青年会担当だったので、東神田の教会まで会いに行かせて頂いた。貧乏ゆすりしながら、思いを語られる独特の嶋田進治郎節を聴きながら、これ、どうやって纏めたらいいのかなと不安に思った。終わり頃、「会長さん、お元氣か」と聞かれて、驚いた。直属教会長同士だから、話す

機会はいくらでもあるのだけれど、何か郁雄会長の、私の知らない面をみたような気がした。青年会の世情への熱い思い、行動に共感する事があつて、嶋田氏にも時々話を聞いたり思いを話したりしていたのだと思う。社に帰って当時主任の安野氏に会うと、「大変だったろう。人物紹介のコラムに書いてくれ」との事であつた。この人は当時の本部青年会の代表みたいな人で、青年会の本部での会議では、東京大阪相手に熱弁をふるっていた。ちよつと横道にそれたが、東京の町田さんが詰所の会長宅に来た事があつた。暫くして「繁道、相手せえ」という事で会長室で麻雀をした事があつた。他の面子が誰だったのか、忘れてしまったが、町田さんは丁度あら号車での世界一周に出る前頃だった。挨拶に来たのだと思う。町田さんは澄雄兄、祥雄兄とも親しかった。郁雄兄はそこそこ、私は少しへこみ。もちろん徹夜だった。この町田さんとは後に本部神殿奉仕当番で長く一緒だった。

結婚前の夏、順子を大教会に連れてきた時、竜頭の滝まで連れて行ってくれた。その夜、バケツ一杯のホルモンを仕入れて来て、焼き肉をして歓待してくれた。兄としての精一杯のもてなしかつたのだろう。私が道友社をやめて、父母に布教の家に行きたいと言ったとき、父母は反対だった。大教会で、暇を見てにいがけに歩けばいい。でも8年間取材に歩かせて頂いて、当時の教会の人達の真剣な歩みを見た私の心では、父母の意見はうけられなかった。下手くそな毛筆で入寮願いを書いて会長のところを持って行くと、「頑張れよ。兄弟で誰もやった事がない。勉強させて貰え」此の年の3月に准承事の辞令を頂いて、かさおかの編集主任をお受けして、布教の家広島寮に入らせて頂いた。従って21日の月次祭には役割が当たるので、19日には、おつとめ衣を自転車の荷台に印刷出来たかさおかと一緒にくくりつけ笠岡まで持って帰った。八本松の長い長い登り坂2号線がとてもしんどかった。

おちばがえりの車の運転、2人だけの時は、「休憩しよう。パチンコじゃ」三石へ上る手前の信号のところのパチンコ店でよく休憩した。帰りは、中国道を走ることもあつた。「あざへに寄ってみるか」という事もあつた。葬式は詰所だった。通夜には有志で徹マンに興じた。告別式、斎主は世話人島村廣義先生、誄詞は書かせて頂いた。

八月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に会長 上原明勇 慎んで申し上げます

親神様には「とのよふな事をするのもみな月日 しんぢつよりのたすけ一ぢよ」との親心からお見せ下さる様々な出来事を通して 陽氣ぐらしへとお導き下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます 私共は日々朝夕に御礼申し上げると共に たすけ一条の御用の上に努め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日はお許し戴いた八月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 明るく陽氣に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には遠近を問わず今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供たちが 相共にお歌を唱和し 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げる状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて今年のこどもおちばがえりも八日間の日程を大きな事故怪我もなく恙なくつとめ終えさえて頂き誠にありがとうございました。笠岡では約五百名が帰参させて頂き心に素晴らしいお土産を持ち帰らせて頂きました。続いての英語講習会にはケニアからの中学生と先生を含め二十三名を迎えて賑やかに開催致しました。海外に暮らすきょうだいと知り合い互いに言葉を交わし心を繋ぐ素晴らしい機会となりました。また本日から少年会のサマーキャンプ二十四日に学生担当委員会の夏学と夏休み最後の行事が続きます。

そして来月は全教会布教推進月間であり月末には全教一斉にをいがけデーもございます 年祭活動締めくくりの年にふさわしい活動とすべく 一手一つにをいがけおたすけに励ませて頂く所存でございます

何卒親神様には 残暑厳しき中にも 親を慕い親に凭れてたすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受取り下さいまして 万たすけの上に尚も自由の御守護を賜り お望み下さる陽気ぐらしの世の状に一日も早く立て替わりますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

立教百八十八年 八月月次祭 祭典役割表

|       |  |      |      |
|-------|--|------|------|
| 祭主    |  | 鷹者   |      |
| 大教会長様 |  | 中村道徳 | 浅野明教 |

  

|      |      |      |
|------|------|------|
| 贊者   |      | 指図方  |
| 上原繁次 | 岡崎治喜 | 門脇元教 |

講話 上原志郎

秋季大祭講話 大教会長様

| 役割  |      | 区分   | 地 方   |       |       | おつとめ<br>てをどり |       |      | 笛     | ちゃんぽん | 拍子木  | 太鼓   | すりがね | 小鼓   | 琴    | 三味線  | 胡弓    |       |
|-----|------|------|-------|-------|-------|--------------|-------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|
|     |      |      |       |       |       |              |       |      |       |       |      |      |      |      |      |      |       |       |
| 坐り勤 | 中島誠治 | 浅野明教 | 中村義太郎 | 大教会長様 | 前会長様  | 上原繁道         | 大教会奥様 | 前奥様  | 田中ますみ | 上原浩   | 赤木素志 | 佐藤道孝 | 谷内秀自 | 吉岡壽  | 三代温生 | 上原順子 | 横山小智榮 | 高木孝子  |
|     | 今川昌彦 | 森本忠善 | 上原繁次  | 谷内伸自  | 吉岡誠一郎 | 虫明立生         | 谷内美知子 | 門脇加津 | 中村初美  | 門脇元教  | 内海史郎 | 中村剛  | 山田敏教 | 高木昭祥 | 上原志郎 | 岡崎豊子 | 内海安子  | 三島照美  |
|     | 田中隆之 | 田林久嗣 | 佐藤真孝  | 岡崎真一  | 上原浩   | 山野弘実         | 武内正美  | 室悦子  | 山野なつ  | 岡崎治喜  | 岡田誠  | 横山逸郎 | 中村剛史 | 三代温生 | 中村道徳 | 吉岡八恵 | 上原千枝子 | 田中つかさ |

# 大教会だより

◎教人資格講習会修了者

立教188年9月10日終講

葦陽 塩出 陵介  
米府 MAKENA PURITY



暑い！とに角、冗談抜きで暑い！連日の猛暑。テレビをつければ、画面上段に「エアコンをためらわず使用して下さい。外出はなるべく控えて下さい」と熱中症警戒の表示。そりゃよく分かつとるわ。指示通りにしたら翌月に届く電気代の請求、目ん玉が飛び出る位くるだろう。

そんな中、八月月次祭をつとめさせて頂いた。この日の為に業務用大型扇風機を一台購入した。しかし神殿の戸を全開しても、風通りがよくない為、生温い風が移動するのみ。反面、冬はいくら閉めきつても風がよく通る。無事終えた。額からは汗が流れ、背中はびしょびしょだった。話は変わるが、上級教会では数ヶ月前から祭典時、おつとめ奉仕者はイス使用(てをどり前半、後半をつとめる奉仕者は除く)となった。

近年、正座をする機会が少くなり長時間は苦しく、また膝に疾患をもたれる人も多くなった為だろう。祭典時、イス使用の教会が増えていると聞く。時代の流れ、変化を感じる。変わらないのは、おつとめ衣の着用。正直、夏場は辛い。季節に応じた服装を考えてみたら。たとえば、夏場はハッピーでつとめるとか。こんな不謹慎な考えをするのは、私だけだろうか――。(る)

## 試案 天理教笠岡大教会史

昭和四十四年(立教百三十二年・1969年)

一月二十一日 大教会世話人・井筒敏夫本部員、移転地視察  
四月二十五日 最終設計図面決定  
六月二十二日 移転地宅地造成工事着手  
北側山林部分からの採土による平地造成及び下段駐車場部分の地上げ(五メートル)並びに参道の最終的造成  
六月二十六日 笠岡大教会移転建築お許し  
鎮座祭 昭和四十六年十一月十日  
奉告祭 昭和四十六年十一月十一日  
旧所在地 岡山県笠岡市笠岡五〇七七番地

新所在地 岡山県笠岡市用之江三七七番地

七月一日―十九日 三代会長、岸本敏明ふしん常任委員 建築用材の台湾檜購入交渉のため中華民国台湾へ出張  
十月二十日 移転地北側の山林三百六十坪追加買収  
十月二十一日 第四回ふしん実行委員会開催 最終図面並びに工事概算額発表  
十二月三日 一手ふしん特別巡教始まる(昭和四十五年二月まで) 着工に向け心構えをねり合う  
昭和四十五年(立教百三十三年・1970年)  
一月六日 上段下段の落差部分の石垣みだれ積工事開始  
二月十八日 移転地宅地造成完了  
四月一日 岡山教区長拝命(以後平成四年まで勤める)

四月十日 移転地地質調査ボーリング  
四月十八日 大教会三代会長上原繁雄 教会本部役員に登用  
四月二十六日 工事着手のための最終決定会議  
五月二十六日 笠岡大教会建築模様替お許し  
六月一日 神殿建築起工式挙行(二百五十人)  
七月十日 現場工事始まる  
八月一日 神殿棟基礎コンクリート打開始  
八月三日 一手ふしん特別巡教(九月まで)  
八月二十七日―九月八日 三代会長、岸本敏明常任委員、夏井大本組現場所長  
を帯同し建築用材台湾檜購入のため中華民国台湾へ出張  
九月八日 移転地東南の用地借用契約纏まる  
九月二十日 一手ふしん青年大会(八百人)  
十月一日 庭園工事着手  
十月五日 客殿・会長宅棟基礎コンクリート打開始 神殿式階部分コンクリート  
打開始  
十月二十日 教職舎棟基礎コンクリート打開始  
十月二十一日 第一回総出ひのきしん(二百人)  
これより後、毎月次祭後に総出ひのきしん  
十一月九日 建築用材台湾檜第一便到着  
十二月一日 移転地東南部山林購入(二千九十七坪)  
十二月十九日 東南部の用地の土地造成完了

**昭和四十六年(立教百三十四年:1971年)**  
一月六日 神殿鉄骨組上完了  
二月二十一日 神殿立柱式  
五月二十日 本部員・井筒敏夫様斎主で笠岡大教会三代会長・上原伊助五十年祭

同夫人・上原光十年祭執行  
五月三十日 神殿屋根工事完了  
六月一日 新井戸掘工事着手  
六月七日 安田ケネス博士(インディアナ大学教授)作庭のため来会(二カ月滞  
在)  
八月八日 庭園池工事並びに中庭作庭工事ほぼ完了  
九月三日 お社到着  
九月十三日 役員家族入居開始  
東より高田、藤井、浅野、岡本、岡崎、中村、岡崎忠夫、今川の各家  
三階に西から内海、岡本久善、飯尾の各家入居。  
九月二十日 外溝工事完了  
九月二十二日 奉告祭役割発表  
十一月一日 三代会長審判会委員拝命  
十一月一日 三代会長検定会委員委嘱される  
十一月十日 真柱御夫妻お入り込み  
鎮座祭  
十一月十一日 移転建築落成奉告祭並びに創立八十周年記念祭執行(七千人余)  
敷地 三万三千二百八十一平方メートル  
神殿建坪 三千二百十平方メートル  
付属建物建坪 二千九百二十六平方メートル  
十二月二十一日 笠岡大教会人事  
青年・岡本信治 中村剛

以下順次「かさおか」誌その他の史料で大教会の主立った出来事を時系列に  
従つて列挙書き進めてゆく。

**昭和四十七年(立教百三十五年:1972年)**

一月一日 笠岡大教会機構と分掌 四月一日施行  
 三月二十六日 一日修養会本部レベル講師研修会(三月十日)まで  
 三月二十六日 久松分教会六代会長中村剛任命(五代会長中村寛一 昭和四十六年十二月十八日出直)  
 就任奉告祭…五月十一日  
 三月二十六日 芳井分教会三代会長佐藤道孝任命(二代会長佐藤静榮 昭和四十六年十二月七日出直)  
 就任奉告祭…五月七日  
 三月二十六日 ひろさと分教会五代会長浅野和芳任命(四代会長高田通昭辞任)  
 就任奉告祭…五月五日  
 三月二十六日 甕連分教会二代会長織田儀一任命(初代会長織田儀之助辞任)  
 就任奉告祭…五月七日  
 三月二十六日 允中分教会三代会長野口稔彦任命(二代会長野口静太郎辞任)  
 就任奉告祭…五月三日  
 四月一日 神殿奉仕者心得及び要領発表  
 四月一日 大教会機構人事発表(辞令交付は六月二十一日)  
 神事部 岡崎幸逸 中島宇一 今川昌弘 河原節喜 大平太郎 田林志  
 計實  
 庶務部 高田通昭 佐藤道孝 森本忠平 岡本豊明 藤井明 秀平善敬  
 岡田誠 高島直道  
 国内布教部 武内清 谷内信美 中村英夫 青木啓司 竹本勘市 吉岡  
 智三 時宗一善 三代正道  
 海外伝道部 岸本敏明 上原豊明 田中一之 上原眞雄 浅野宣宏 原  
 田義徳 鳥越祥典 宮本泰徳 高木昭祥 吉岡孝彦 三代温生  
 会長室 高田通昭 内海柱  
 史料部 藤井憲男 岡崎眞澄 門脇誠教 上原繁道  
 管理部 浅野明男 三島材二 平井正雄 杉原正夫 三島克巳 渡邊定

夫 橋本正之  
 會計部 岡本久則 武内清  
 補導掛 谷内信美 岡崎輝夫 岡崎幸逸 宮本友二 藤井憲男 浅野和  
 芳 高田通昭 赤木利行 虫明昌平 田中一之 門脇誠教 岡崎  
 眞琴 平井正雄 杉原正夫  
 かさおか編集掛 赤木利行 谷内信自 岡崎和夫  
 輸送掛 虫明昌平 三島克巳 赤木利行 岡本久善 森本忠平 香取満  
 三宅真実 岡本豊明 三阪道輝 掛谷和由 藤本章 佐藤主計  
 豊田道人 渡邊定夫 三代昌 下田輝夫  
 詰所部 今川昌夫 中村邦義 岡崎孝志 今川昌直  
 旧大教会 飯尾保人  
 婦人会 上原せい子  
 青年会 岡本久善  
 少年会 岡崎眞琴  
 大教会史編纂委員会 主任・岸本敏明 次長・武内清 相談役・岡崎幸逸  
 常任委員 上原豊明 今川昌夫 藤井憲男 高田通昭 岡崎眞澄 赤木  
 利行 上原繁道  
 委員 杉原正夫 岡崎和夫 岡崎憲明 森分偉史 三阪道輝 平盛隼美  
 吉岡智三 佐藤主計 山野繁樹 三島陽祐 三代昌 高島直道  
 渡邊眞次  
 四月二十六日 上小畠分教会附属建物増築  
 四月二十六日 笠尋分教会附属建物増築  
 五月一日 婦人会長様 松村みちよ、田邊おふさ両先生を迎え笠岡支部第十回  
 総会(二千人)  
 五月二十一日 神殿奉仕者心得及び要領制定  
 ・神殿奉仕中は一身一家の事は勿論の事雑務にとらわれる事なく奉仕に専  
 念する  
 ・神殿奉仕者は奉仕日前日夕つとめ前迄に大教会へ到着、奉仕日夕つとめ



迄つとめる

・奉仕者は帰会后直ちに大教会長様に挨拶、備え行け奉仕簿に記帳する

・奉仕者は朝つとめより夕つとめ迄の間、三十分または一時間交替で神前所定の場所に着座奉仕する。祭典日も同じ

・着座奉仕中は所定の教内書以外の読書又は他人との雑談はしない

・結界内には教服、お掃除用白衣以外の服装で入らない

・一般参拝者(子供を含む)は結界内に入らないように、又子供など結界を跨いで遊ぶ者がある時は注意する

・神殿(礼拝場を含む)内での喫煙はしない事、又喫煙する人がある時には注意する

・献饌は朝のお掃除完了に引き続き、撤饌は午後のお掃除直前に教服を着用してつとめる

・結界内(お社、神床、上中段)のお掃除は朝つとめ一時間前よりと午後三時(夕つとめの時刻により二時三十分)からの二回、服装はお掃除用白衣を着用してつとめる

・朝つとめ夕つとめの時、大教会教会役員以外の奉仕者は結界内右側に教服で着座する

・着座奉仕以外の時間は原則として神事所に控える

・奉仕者は当番室(男子二階、女子一階)に宿直する事を原則とする

・奉仕日、その他神殿奉仕に関する一切の事は神事部長又は神事部員に相談する事

六月二日 大教会理事夫人・岡本伊志出直(百歳)

六月四日 青年一日修養会全教で開催

六月二十九日―九月十五日 岸本敏明海外伝道部長海外巡教

七月一―二日 少年会本部から宇恵義昭 川本義昭両先生を迎え縦の伝道講習会開催(四十二人)

七月十一日 インディアナ笠岡アメリカフェロウシップ開設(所長…上原豊明)

開設場所 米国インディアナ州ブルーミントン市ケリイ街五三二

七月十四日 ニューヨーク・ジャージー笠岡アメリカフェロウシップ開設(所長…上原眞雄)

開設場所 米国ニューヨーク市フラッシング七〇道路一三六―〇六

七月三十一日―二十三日 少年会笠岡団鼓笛講習会開催(二百人)

七月二十五日―二十八日 第十九回こどもおぢばがえりに第一団(福山・高屋神

邊・久松 参加(二〇二人)

七月三十日―八月三日 第二団(直轄・玉島)参加(八三三人)

八月六日―十日 第九回夏季英語講習会開催(八六八人)

八月十九日 シンガポール出張所開所

八月二十六日 金浦分教会附属建物増築

九月一日 諸井ろく本部婦人出直(八十六歳)

九月二十四日 婦人会本部から辻芳子先生をお迎えし第二十回笠岡女子青年総

会開催(三五〇人)

九月二十六日 川島郷分教会移転建築

旧所在地…岡山県倉敷市玉島黒崎三千百十八番地

新所在地…岡山県倉敷市玉島黒崎三千五百十八番地の一

鎮座祭…昭和四十九年十二月八日

奉告祭…昭和四十九年十二月九日

九月二十六日 玉水分教会三代会長浅原完任命(二代会長浅原はるの辞任)

就任奉告祭…十一月五日

九月二十六日 玉島分教会移転建築

旧所在地…岡山県倉敷市玉島柏島六百四十番地

新所在地…岡山県倉敷市玉島長尾百五十一番地

鎮座祭…昭和五十二年十月三十一日

奉告祭…昭和五十二年十二月一日

九月二十六日 豊松村分教会三代会長猪原瑠璃子任命(二代会長武内有道辞任)

九月二十六日 豊松村分教会移転

旧所在地…広島県神石群豊松村大字中平五百十四番地

新所在地…岡山県井原市木之子町四百六十五番地

九月二十六日 豊松村分教会を真金分教会と改称

鎮座祭…十一月九日

奉告祭…十一月十日

九月二十六日 服部分教会五代会長福田勝任命(四代会会長福田伯太郎辞任)

就任奉告祭…十一月十一日

九月二十六日 服部分教会附属建物増改築

九月二十六日 服部分教会恒例祭日変更(四日―十二日)

九月二十六日 府世原分教会二代会長高信公枝任命(初代会会長高信宣明 昭和四十六年七月九日出直)

就任奉告祭…十二月三日

十月二十日 本部員・飯降俊彦先生齋主のもと上原さと初代会会長三十年祭並びに

上原朝子四代会会長夫人二十年祭執行(四五〇人)

十月二十六日 教祖九十年祭打ち出し

十月二十六日 三代会長上原繁雄 教祖九十年祭準備委員拜命

十月二十七日 大教会理事夫人・藤井コウ姉出直し(九十三歳)

十月二十九日 本部女子青年大会挙行(笠岡からバス二台、一二四人参加)

十一月十四日 二代真柱中山正善様五年祭

十一月二十一日 表統領、本部員・中山慶一先生大教会月次祭に併せて教祖九十年祭への心構えについて講話

十一月二十六日 輝伯分教会四代会会長砂流アキノ任命(三代会長広江マサノ辞任)

就任奉告祭…十二月二日

十一月二十六日 伯仙分教会附属建物増築

十一月二十六日 多古浦分教会附属建物増築

十二月二十一日 三島渉 大教会青年に任命

この年は、前年八十周年並びに移転建築落成奉告祭を終えて、新神殿、新境

内地での第一年であった。早速に新機構が発表されて、また新神殿での神殿奉仕要領が発表された。また十月二十には初代会会長・上原さと三十年祭、朝子夫人二十年祭が執行され、初代会長については、その遺徳を偲んで門脇一教、吉岡章女、高田千鶴子の各氏、また最後に四代会会長・上原郁雄が想い出話を語った。

十月二十六日、本年秋季大祭に真柱様から、四年後の昭和五十一年一月二十六日から二月十八に亘り、教祖九十年祭を勤める旨の発表があった。

この年の大教会年間統計 初席者六百七十五人 おさづけの理拝戴者四百八十一人 修養科修了者百五十六人 教人登録者九十五人 教人総数一千八百二十人 よふぼく総数八千七百七十四人。全教よふぼく総数六十六万二千八十四人。